

神の愛がわたしたちの中で (ヨハネの手紙Ⅰ 4:12)

校長 大岩 厚

熊本県西原村の山の中に、子ども向けの本を中心に扱っている小さな本屋さんがあります。かつてテレビ番組で取り上げられ、その時、歌手の藤井フミヤさんが、店主お勧めの一冊の本を買った場面が映し出されました。

その本は、『人は何で生きるか』というタイトルで、ロシアの作家レフ・トルストイがロシア民話をもとに書いた短編集でした。

学生時代に、その原作を読んで感動した北御門二郎さんは、トルストイの絶対的非暴力の精神に共感し、徴兵を拒否しました。そして、農業をしながらトルストイ作品の翻訳を一生の仕事としました。

第75回読書週間の標語は、「最後の頁を閉じた 違う私が出た」ですが、まさに北御門さんは、若い時に会った一冊の本によって、これまでとは違う人生を歩むようになったのだと思います。そして、今から30年ほど前、北御門さんのご家族が、世の中にはこんなにも素晴らしい本があるのに、それに出会うことなく大人になっていく子どもたちがいるのはもったいない、という思いから、選りすぐりの絵本や読み物、図鑑などをそろえて、南阿蘇の山の中でこの本屋さんを始められました。

『ヒトは何で生きるか』という短編では、主人公ミハイルは神様から3つの課題を与えられます。

- 「人の中には何があるのか。」
- 「人に与えられていないものは何か。」
- 「人は何によって生きるか。」

ミハイルは、小さな靴屋の主人に助けられ、そこで働きながら、6年かかってこれらの答えを見いだします。標題にした聖書の箇所にも、そのヒントが書かれていますが、皆さんならどう答えるでしょうか。

幼い頃読んでもらった絵本や、若い頃に読んだ本を、年を重ねてから読み返すと、「ああ、そうだったのか。」と気づくこともたくさんあります。

本や絵本との出会いが、あなたに大切なことを教えてくれるかもしれません。図書館や本屋さん足運んでみませんか。

オープンスクールと英語科紹介、なごやかに 中学・高校のオープンスクール

10月23日(土)に第2回活水中学校オープンスクール、第3回活水高等学校オープンスクールが開催されました。中学校オープンスクールは小学5・6年生が44名、高校オープンスクールは中学3年生137名が参加しました。中学校オープンスクールは午前に、高校オープンスクールは午後開催されました。

内容は入学試験についての説明がメインとなり、在校生との交流会、音楽提携プログラム体験や運動部活動体験も行われました。受付、案内、設営、説明、

除菌などを中高ともに沢山の在校生が手伝ってくれました。

在校生交流では中高ともにそれぞれ1グループ10人前後のグループに分かれ、在校生が普段の活水での生活を話したり、それまでに挙がっていた質問に答えたりしてくれました。

オープンスクール参加者の感想には「在校生が優しく言葉かけをしてくれ、在校生の雰囲気がとても良かった」という声が高中ともに何件もありました。協力してくれた在校生の皆さんありがとうございました。(文責：梶原司門)



英語科紹介

秋のオープンスクール午前中行事として「英語科紹介」が開催され、高校Ⅱ年英語科のアンジェリカ先生による授業を参観する形で行われました。



会場となったカフェテリアでは、ホワイトボードに生徒たちがそれぞれ担当した国のリサーチが掲示されており、初めに渡辺さんによるスピーチが発表されました。その後、ウガンダについてのプレゼンテーションが行われ、それに関する質疑応答などオールイングリッシュで展開される授業を来校した中学生たちは興味深く見ていました。最後に海外旅行の様子をスキット形式で行われ、中学生たちはリラックスした雰囲気の中でレベルの高い英語によるやり取りが展開される英語科の授業を楽しんでいました。(文責：平尾淳一)



今月の聖句

わたしの魂よ、沈黙して、ただ神に向かえ。神にのみ、わたしは希望をおいている。(詩篇62:6)

私の好きな讃美歌の1つに「だから今日、希望がある」というパブローサの曲があります。繰り返し部分は「だから、今日希望がある。だから恐れずに生きる。貧しい者も未来を信じて、歩み始める」という歌詞です。「だから」という言葉が印象的なのですが、だからという言葉の前には、理由が必要です。

私たちの人生でも、いろんな困難や不安に対して、理由なく大丈夫と言われてたり、希望を持ってと言われても、安心できません。この讃美歌の1節は「主が貧しい馬小屋で生まれたから」と始まり、クリスマスとイエス様の生涯が表現されます。神様が最も暗くて寂しい場所まで助けに来てくれるから、「だから」私たちはどんな状況の中でも希望を持って歩めると理由を明らかにしているのです。聖書の教える希望は理由のない希望ではありません。「だから」みなさんも希望を持って日々の学校生活を送りましょう。

(文責：三河悠希子)



30	27	25	23	20	18	17	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	11月行事予定
火	土	木	火	土	木	水	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	
*受験相談会：毎週土曜日開催																						
音工1又副科実技試験																						
高3特別行事																						
中学特別行事																						
活水女子大学内推入試Ⅱ期																						
高ⅠⅡ期末考査(30日)																						
高ⅠⅡ期末考査(29日)																						
中学高Ⅱ期末考査(29日)																						
勤労感謝の日																						
活水女子大学内推入試Ⅰ期																						
特進土曜課外																						
中学校内弁論大会																						
期末考査時間割発表																						
ツリ点灯式																						
クリスマス装飾作り																						
教会出席日																						
高Ⅰ小論文模試(特進)																						
特進土曜課外																						
高Ⅱ論理言語力検定																						
生徒修養会																						
生徒修養会準備祈禱会																						
音工1又主科実技試験																						
高Ⅰ特進小論文模試																						
英検二次試験																						
高Ⅲ看護医療模試																						
高ⅠⅡ模試																						
第34回定期演奏会																						
避難訓練(40分授業)																						
月曜の授業																						
中二進学説明会																						
中学生徒会役員改選																						
文化の日																						
宗教改革記念日礼拝																						
活水祭代休																						

中学一年生・二年生、校外での学び

スケッチと美術館見学

私たちは、10月6日（木）に水辺の森公園と長崎県美術館に行きました。スケッチの経験はあまりなかったのですが少し戸惑いましたが、描きたいと思った景色を見たまま描いたり、立体的に見えるように線の太さを工夫したりして、丁寧に描くことが出来ました。

美術館では、自分で描いた絵を使ってオリジナルの缶バッジを作り、美術家の池野清さんの作品を見学しました。特に印象に残っているのは「魚」という作品で、色使いや影の付け方が素晴らしくて驚きました。初めてのことを体験することの出来た楽しい特別行事でした。（文責：一年1組 山越理央）



宿泊研修

10月13日（水）14日（木）、諫早にある国立青少年自然の家で1泊2日の宿泊学習を行いました。初日の午前中は野外炊飯に取り組み、各班とも飯盒で炊いたご飯と豚汁をおいしくいただきました。午後からは「I-CAP」という活動を行い、それぞれのグループの絆を深めることができました。夜のキャンプサービスでは、厳かな雰囲気の中、一人ひとりが神聖な気持ちで祈りを捧げました。翌日はウォークラリーに出かけました。6チーム中3チームが道に迷うというハプニングがありましたが、全員無事ゴールへたどり着きました。2日間を通してお互いを尊重し合う気持ちが育まれ、充実した時間となりました。（文責：長門祐司）

高IIが花壇を整備しました

10月中旬から約2週間、高校II年生全員で雑草だらけになっていた花壇を整備しました。汗びっしょりになって雑草を抜き、土をほぐして新しい土と肥料をまき、パンジー・ビオラ・キンギョソウを植えました。今後は、ボランティアで水やりをして育てていきます。（文責：五貫俊子）



高校1年生 活水女子大学説明会

10月13日（水）、活水女子大学から7名の先生方が来校し、生徒たちは、関心のある2つの学科の説明を受けました。“生徒たちの声”を拾ってみました。

- 〈英語〉 少人数クラスで、外国の先生方と話す機会が多いのがいい。
- 〈日本文化〉 国語の勉強ばかりではなく、実践的で、地域的に役立つことが学べる。
- 〈音楽〉 音楽をしている人は度胸があって就活での評価も高い。
- 〈食生活〉 管理栄養士は食を通して人々の健康を守る仕事。スポーツジムなどでも活躍。
- 〈生活デザイン〉 絵が下手でも大丈夫。人にわかりやすいデザインをつくるのが大事。
- 〈子ども〉 保健室の先生にもなれる。子どもを一人の人間として理解することが大切。
- 〈看護〉 患者の心に寄り添い気持ちを支えることが重要。夢を持つ仲間と学べるのがいい。



「もっと知りたい、早めにオープンキャンパスに行きたい」など、大学について知っただけでなく、将来について前向きに考える良い機会となりました。（文責：古田雄介）

高川将来学で救急救命講習

2021年10月13日（水）5、6時間目に、高校III年生が長崎市消防局の向井茂樹先生（救急救命士）から救急救命法を習いました。一人ずつ、簡易的な人形を使い、心肺蘇生やAEDの使い方を学びました。

（文責：濱口未希）

〈生徒の感想〉

- ・3分以内に心肺蘇生をしないと助かる命が少ないと知れて、なるべく早く助けられるようにしたいと思いました。
- ・もし自分の前で人が倒れてしまったら、適切な対応ができるか心配だけど、できることをして、人助けになったらいいなと思いました。
- ・いざというとき、目の前で知らない人が倒れても、その人やその人の家族や大切な人のことを思って、勇気をふりしぼり救急救命できる人になりたいです。



吹奏楽、全日本で銀

10月24日（日）、名古屋国際会議場で開催された全日本吹奏楽コンクールにおいて、本校吹奏楽部は銀賞を受賞しました。

また、10月10日（日）別府国際コンベンションセンターで開催された九州マーチングコンテスト＜高等学校以上の部＞では金賞を受賞し、九州代表として、11月21日（日）大阪城ホールで開催される全日本マーチングコンテストに出場します。

吉田さん、高円宮杯県大会で優勝

10月2日（土）に開かれた高円宮杯全日本中学校英語弁論大会長崎県大会で、中学3年の吉田幸加さんが、優勝しました。弁論の題は「Embrace Difference」（違いを受け止めよう）で、11月末の全国大会にエントリーされます。

中学新体操朝永さん県大会優勝

10月16日（土）、長崎県中学校新人大会新体操競技で、朝長陽稀さんが個人総合優勝を、平井彩摘さんが6位入賞を果たしました。久米つづりさんも7位と健闘しました。

〈弓道〉

市民体育・レクリエーション祭弓道競技

高校女子団体

- 第1位 活水Aチーム(石楽瑞希・川田仁胡・佐々野桜)
- 第2位 活水1チーム(大道寺姫歩・綾部みなみ・三浦愛梨)
- 第3位 活水Bチーム(西崎凜花・前原未羽・田添奏子)
- 高校女子個人 第2位 綾部みなみ 第3位 三浦愛梨 第4位 田添奏子 第5位 石楽瑞希

〈バレーボール〉

長崎地区高等学校新人体育大会バレーボール競技 第3位

〈音楽〉

日本クラシック音楽コンクール地区本選会

優秀賞 松本英姫

優秀賞並びに全国大会出場推薦 中武愛佳

国際声楽コンクール東京 高校3年部門 本選入選

田川美桜 矢野夢果

音の夢ピアノコンクール全国大会

課題曲コース 中学生の部 優秀賞 吉田幸加

長崎県高等学校音楽コンクール

声楽部門

金賞 及び 瀧廉太郎記念全日本高等学校

声楽コンクール県代表推薦 田川美桜

金賞 及び 全九州高等学校音楽コンクール

県代表推薦 早川綾乃

金賞 石田 彌月 矢野夢果

ピアノA部門

金賞 及び 全九州高等学校音楽コンクール

県代表推薦 松本 英姫

銀賞 大槻愛美

ピアノB部門 金賞 矢野夢果

金管楽器部門 銀賞 大山汀紗

木管楽器部門 金賞 山下夏末

銀賞 加末紗采

銅賞 藤原桜希 新永陽

〈放送〉

九州高校放送コンテスト県南地区大会

アナウンス部門 優秀賞 渡辺あい

朗読部門 優秀賞 浅井 滯奈

〈バドミントン〉

長崎県高校長崎地区新人体育大会

女子団体 第2位

個人女子ダブルス 第2位 本田莉紗 若杉花歌

〈卓球〉

長崎県高校新人体育大会長崎地区予選

団体 第3位

女子シングルス 第3位 富永蘭

女子ダブルス 第2位 富永蘭 小田 綺音